高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 情報 科目 情報Ⅱ

対象学年組:第 3 学年 A 組~ E 組

教科担当者: (松田)

使用教科書: (情報Ⅱ 情報の力で社会を創る(東京書籍)

教科 情報 の目標:

情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての 【知 識 及 び 技 能 】知識と技能を身につけるとともに、情報社会と人との関わりについては、情報に関する法規や制度及びマ ナーについて、情報と情報技術の理解と合わせて身につける。

様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見出す力を養うとと 【思考力、判断力、表現力等】もに、問題を発展・解決する各団体で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで、情報と 情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

情報と情報技術を適切に活用することを通して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュ 【学びに向かう力、人間性等】リティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報Ⅱ

の日標・

יארון כי יידור ווידוי יידור ווידוי יידור ווידוי		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
多様なデータ活用について理解を深め技能を習得す	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題 の発券・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効 果的、創造的に活用する力を養う。	

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
【知識及び技能】 ・情報技術の発展の歴史を踏まえ、情報社会の進展について理解する。 ・情報技術の発展によるコミュニケーションの多様化について理解する。 ・情報技術の発展による人の知的活動への影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報技術の発展や情報社会の進展	教科書「情報II 情報の力で社会を 創名」章 情報社会 【実習編】 ・うわさの研究 ・地域のデータを可視化しよう ・地域のデータを可視化しよう ・地域の能と仕事を考える ・POSシステムを調べる 【理論編】 ・情報社会の進展と情報技術 ・コニケのの影響	【知識・技能】 ・情報技術の発展の歴史を踏まえ、情報社会の ・情報技術の発展の歴史を踏まえ、情報社会の ・情報技術の発展によるコミュニケーションの 多様化について理解している。 ・情報技術の発展による人の知的活動への影響 について理解している。 【思考・判断・表現】 ・情報技術の発展では、 ・情報技術の発展では、 ・情報技術の発展では、 ・情報技術の発展でいる。 【思考・判断・表現】 ・情報技術の情報社会の進展を踏いて考 ・コンテンツの創造と活用の意義について考 ・コンテンツの創造と活用の意義について考 ・カの知的活動が変化する社会における情報を ・人の知的活動が変化する社会における情報を ・人の知的活動が変化する社会における情報を ・人の知的活動が変化する社会における情報を ・といる。 ・大の知り活動が変化する社会における情報を ・大の知り活動が変化する社会における情報を ・大の知り活動が変化する社会における情報を ・大の知り間題を発見し、解決に向け ・大提案を行うために、学習に取り組む態度】 ・情報社会における問題を発見し、解決に向け を提案を行うために、学習に取り組む態度】 ・情報技術を適り己に ・た提案をもらいる。 ・表記を解決にある。 ・表記を解決した。 ・表記を解決した。 ・表記を解決した。 ・表記を解決にある。 ・表記を解決した。 ・表記を	0	0	0	12
期 「知識及び技能」 ・多様なコニケーションのの形態 と多様なコニケーションのの形態 とを様なコアの特性との関係につなどを 組み合きりに付ける。 ・立み合きりに付ける。 ・立み合きりに付ける。 ・立効果ので方法を手段の方法を がある。 ・連撃できたいでは、 ・の効果ので方法を ・の効果ので方法を ・の対して、 ・の対して、 ・の対して、 ・のがまして、 ・のがまして、 ・のがまして、 ・のがまして、 ・のがまして、 ・では、 ・	第2章 コンテンツ 【実習編】 ・プログラムで絵を描こう ・3Dの新製品を開発しよう ・キャラクターを動かそう ・楽しく体を動かう ・情報をまとロジェクト ・情報のチェックリストを作ろう ・プロ論編】 ・メコンテンツの発信	【知識・技能】 ・多様なコミュニケーションの形態とメディアの特性との関係について理解している。 ・文字、音声、静止画などを組み合わせたコンテンツを制作する技能を身に付けている。 ・コンテ・ツを様々な手段で適切かつ効果的に発信がある。 ・コンテンツを様々な手段で適切いる。 【思考や状況に応じて音を考えている。 ・国もや状況に応じます。とができる。 ・情報価し改善を考え、大学、できる。 ・連ばいた、できなどできる。 ・神のでは、一体の対象には、一体の対象には、一体の対象には、一体の対象には、一体の対象には、一体の対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対	0	0	0	17
定期考査			0	0		1

2.当	コニケー技法と か理 ・ と で と と で か で と と で か で が で が で が で が で が で が で が で が で が	 3Dの新製品を開発しよう キャラクターを動かそう 楽しく体を動から 情報をまとう 情報のチェンクリストを作ろう 情報のチェックリストを作ろう 理論編】 メディアの特性と利用 コンテンツの発信 	・多様なコミュニケーションの形態とメディアの特性との関係について理解している。 ・文字、音声、静止画、動画などを組み合わせたコンテンツを樹々な手段能を身に付けている。 ・コンテンツを様々な手段している。 ・コンテンツを様々な手段している。 ・コンテンツを様々な手段している。 ・コンテンツを様々な手段している。 ・コンテンツを様々な手段している。 ・国ものや状況に応じて音声、テーションの形態を考え、文字、音声、かりのできた。の効果やした。 ・情報デザインに配慮してできる。きの効果やした。コンテンツを社会に発信したテンツを担し、コンテンツを対し、コンテンツを発音することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・目的や状況に応じてしまりかつ効果的に発信したしている。 ・情報デザインに配慮し粘り強く評価や改善を適切かつ効果的に発信をしまりない。 ・情報社会の発展に寄与して、情報社会の発展に寄与した。	0	0	0	10
	情報により、	・データを整理しよう・キーボードの配列を研究しよう・星座ランキングを分析しよう	【知識・技能】 ・多様かつ大量のデータの存在やデータ活用の有用性、データサイエンスが社会に果たす役割 収集やすとの収集や整理について理解し技能を身に付けている。 ・データに基づく現象のモデル化やデー理解し、・データに基づく現象のモデル化やデー理解した。 ・データに基づく現象のモデル化やデー理解した。 ・理を行い解釈・表現】 ・目的に応じて、強値切なデータを収集し、整理し、整理・判断・表現】 ・目的に応じて、強値切なデータを収集し、整理し、整理のとを消したり、複数の現象にできる。・将来の減少を予測したり、複数の現象にデできる・・将来の減少を予測したり、必要に関連を明らかにしたりを適切ながまるとができる。・モデルを地理の結果を評価し、・理典のお方法をを持っることができる。・モデルを適切に扱うこととができる。 【主体のに参画している。】 ・データを適切になりまれた。 ・データを適切になりまれた。・データを適切にないる。 ・データを適切にないる。 ・ボータをを適している。 適切さについてデータ処理の結果をに、ボータを適切にないる。	0	0	0	19
	定期考査			0	0	0	1
	情報システンスを構成のリースをはいるなどに分から、情報を対している。 情報を対している。 はいるないでは、 情報のリースを表している。 はいるないでは、 はいるないないない。 はいるないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	・顔検出とARを体験しよう ・小さな情報システムを作ろう ・テキストマイニングしてみよう ・掲示板システムを作ろう 【理論編】 ・情報ンステム ・情報セキュリティ技術 ・情報システムの設計	【知識・技能】・情報システムにおける、情報の流れや処理の 仕組み、情報セキュリティを確保する方法や技 ・情報とステムにおける、情報の流れや処理の ・情報とステムの設計を表記する方法、設発 ・情報システムの設計を表記する方法、設発の 実装、テスト、運用等のソネジメントについて 理解している。 ・情報システムを構成するプログ民具を制作する方法表、のでは る方法表でいて理解し技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・情報システム及びそれによって提供される サービスについて、その在り奈立るとができる。 ・情報システムのいくつかの機会単位に分割して を関する方とでで、関系の表ができる。 ・情報システムのいくのかの機会単位に分割して制作し統合配慮して設計することができる。 【主体的にテームの設計とプログラミングに関わり、 り、自分なりの新しい考え方や捉えいる。 ・自分なりの新しい考え方としている。 ・自分なりの養・修正しようとしている。	0	0	0	10
							<u>合計</u> 70